

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

.....

社会福祉法人白峰会

白峰保育園

横浜市港南区港南台 4-6-15

.....

【評価対象種別】

保育所

【使用評価項目】

横浜市版

●実施概要	P1
●総合評価	P2 ~ P3
●分類別評価結果	P4~P16
●利用者家族アンケート結果	P17~P25
●利用者本人調査結果	P26~P28
●事業者コメント	P29

2017年3月

評価実施機関：合同会社 評価市民・ネクスト





## 【評価実施概要】

事業所名	社会福祉法人白峰会 白峰保育園
事業所への報告書提出日	2017年3月15日 (評価に要した期間) 9ヶ月
評価機関	合同会社 評価市民・ネクスト

### ●評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2016年6月3日～8月8日</p>	<p>①職員がそれぞれ自己評価票に記入する。</p> <p>②4つのグループをつくり、各個人で記入したものをもとに、意見交換しながらグループで1つの評価にまとめる。</p> <p>③各グループのリーダー（園長、副園長含む）で、グループの評価を持ち寄り、意見交換しながら、園の評価にまとめる。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2016年7月26日～8月10日</p>	<p>① 全園児の保護者（71世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。</p> <p>② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日 第1日：2017年1月12日 第2日：2017年1月20日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：保育観察。 昼食：園児と一緒に食べながら保育観察。 午後：書類調査。園長・副園長にヒアリング。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後各クラスで保育観察。 昼食：園児と一緒に食べながら保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、栄養士1名、非常勤職員1名、副園長に順にヒアリング。 その後、園長・副園長にヒアリング。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日 第1日：2017年1月12日 第2日：2017年1月20日</p>	<p>① 観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

### 【施設の概要】

白峰保育園は JR 京浜東北根岸線の港南台駅から歩いて 10 分ほどの、横浜医療福祉センター港南、県立明朋高校などが並ぶ一角にあります。近くには、関連の学校法人の横浜女子短期大学があります。周辺には自然が豊かな公園が複数あり、子どもたちの散歩コースとなっています。

白峰保育園は、平成 26 年（2014 年）4 月に開園しました。運営法人は社会福祉法人白峰会です。運営法人は、創立 116 年の歴史があり、横浜市内で 2 園保育園を運営するほか、市内で児童養護施設を 1 か所運営しています。

鉄筋コンクリート造り 2 階建ての園舎は明るく広々としていて、随所に運営法人が蓄積してきたノウハウが活かされています。シンボルツリーが植えられた園庭のほか、2 階にテラスがあり、夏には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。

定員は 90 人（産休明け～5 歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は 7 時～20 時、土曜日は 7 時～17 時です。

保育理念は、「子どもは わたしたちの たからです。たえず おとなに よろこびと のぞみと ひかりをあたえてくれます。わたくしたちは まごころをもって ひび よく そだてましょう。」（創立者 平野 恒）、保育方針として「キリスト教の精神に基づき子ども一人ひとりを大切にし、保護者、地域から信頼される保育所を目指します」、保育目標として「健康な身体で明るく元気な子ども」「意欲を持ち自分で考え行動できる子ども」「感謝の気持ちと思いやりの心を持つ素直でやさしい子ども」を掲げています。

### ●特長・優れている点

#### 【1】保育士に優しく気持ちを受け止めてもらい、子どもたちは落ち着いて毎日を過ごしています

園は、子ども一人一人の思いに寄り添い、共感することを大切に保育にあたっています。保育士は、子どもに優しく話しかけ、子どもの言葉や表情、仕草、反応などから子どもの思いを読み取っています。

乳児は、仕切りやマット等を用いて保育室を仕切り、子どもの状況に合わせて個別や小集団で活動しています。0 歳児は主活動、生活ともに小グループで活動しています。1 歳児は、遊びはクラスですが、食事やトイレなど生活面はグループ担任とともに動いています。保育士との個別の関わりの中、子どもたちは保育士にたくさんスキンシップをとってもらい、甘えを受け止めてもらっていて、安心して毎日を送っています。

保育士は、子どもの声を聞いて、散歩先の公園を決めたり、遊びや活動に取り入れるなど、子どもが主体的に活動できるように柔軟に計画を変更しています。製作などは期間に余裕を持たせ、小グループの中で、個別にじっくりと関わるようにしています。自由に好きな遊びをする時間もたっぷりあり、子どもたちは好きなコーナーに分かれて、1 人で集中して遊んだり、2～3 人、4～5 人でおしゃべりしながらパズルや絵本、電車で遊んだり、思い思いに楽しんでいます。

また、身体を動かす、植物や動物を観察する、図書館で本を読むなど、子どもの状況や目的に合わせて近隣の公園や女子短期大学の図書館などに散歩に出かけています。散歩先での子どもたちは、友だちと元気に追いかっこをしたり、山の斜面を上り下りして探検ごっこをしたり、友だちと凧揚げをしてどこまで高くあげられるかを競うなどして、元気いっぱい遊んでいます。ドッジボールなどルール性のある遊びをすることもあります。保育士は子どもの様子を見守り、個々の子どものやりたい気持ちを大切に聞き取り、遊び

方のアドバイスをし、集団遊びにつなげられるように働きかけています。

このように、子どもたちは保育士に優しく気持ちを受け止めてもらい、落ち着いて園生活を楽しんでいます。

## **【2】 保育士は理念を共有し、連携して保育にあたっています**

開園からの3年間、運営法人の保育園2園から異動してきた職員に新規採用の保育士が加わり、新しい保育園作りを行ってきました。保育士は皆、運営法人の創立者の言葉である保育理念を共有しているとはいえ、細かな保育の方法など、様々な摺合せが必要でした。園長を始め、職員は会議や園内研修を通してそれぞれの保育の方法が理念や方針に沿っているか話し合いを重ね、園としての方向性を統一してきました。

保育士は、自己チェックや自己評価などを通して自身の保育が理念や方針に沿っているかについて常に振り返るとともに、年間指導計画や月案の作成時にも理念や方針、保育課程に基づいて振り返りをしています。

研修にも力を入れていて、保育士は白峰学園保育センターを始めとして横浜市などの研修に積極的に参加し、研鑽を重ね、保育技術のさらなる向上を目指しています。研修に参加した職員は研修報告書を提出し、職員間で共有しています。

このような取り組みを通して、保育士は目指す方向性を共有し、連携して保育にあたっています。

## **【3】 子育て支援担当の保育士を配置し、地域の子育て支援に取り組んでいます**

園は、地域に根ざした保育園をめざし、子育て支援担当の保育士を配置し、地域の子育て支援に取り組んでいます。地域の子育て支援としては、一時保育、交流保育、育児相談などを実施しています。一時保育は月曜日から金曜日まで、1日10名（各年齢2名）までを目安に、クラスで受け入れています。子育て支援事業として「保育園にあそびに来ませんか」を企画し、運動遊びやクリスマスリース作り、プール開放などを行っていて、毎回参加者があり、定着しています。運動遊びなどには園児も参加し、交流しています。参加した保護者の育児相談にも応じています。

地域との交流も盛んで、港南台子育て連絡会主催の七夕まつりや焼き芋大会などに子どもたちが参加しています。また、女子短期大学の図書館や体育館、グラウンドを利用したり、花の日や感謝祭に地域の交番や消防署、高校、病院、短大などに子どもたちがお礼に回ったりして交流しています。

向かいの県立明朋高校とは避難訓練を合同で実施するほか、高校生が読み聞かせや楽器演奏をしたりし、交流しています。今後は、高校生との交流を定期的なボランティア活動に発展させ次世代育成の取り組みとするなど、園の取り組みをさらに進め、深めていくことが期待されます。

### **●今後の取り組みが期待される点**

#### **3年間の実践を踏まえ、人材育成計画や中長期計画などの文書化を図られることが望まれます**

開園からの3年間、園長を始めとして職員は、園の地盤作りに向けて取り組んできました。保育士は、自己の課題だけでなく、クラスや園についても自己評価をして課題を明らかにし、自己評価で明らかになった課題は職員会議等で改善に向けて取り組んでいます。ただし、その結果を園の自己評価としてまとめて課題を抽出し、園の運営に反映することは今後の課題となっています。

今後は、保育士の自己評価を基に園としての自己評価を行うとともに、3年間の総括を活かして、中長期的な計画を作成されることが期待されます。また、長期的な視点に立った人材育成計画の作成や、職員が自分で確認できるよう職員の経験や習熟度に応じた期待水準の明文化など、文書化の取り組みをなされることが期待されます。

## 分類別評価結果



「ひょう太」 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

横浜市の評価基準に基づいて、各評価分類は1～6つの評価項目によって構成され、評価項目の評価結果によって、評価分類の評価結果が決まります。

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 保育理念は「子どもは わたくしたちの たからです。たえず おとなに よろこびと のぞみと ひかりを あたえてくれます。わたくしたちは まごころをもって ひび よく そだてましょう。」、保育方針は「キリスト教の精神に基づき子ども一人ひとりを大切にし、保護者、地域から信頼される保育所を目指します」、保育目標は「健康な身体で明るく元気な子ども」「意欲を持ち自分で考え行動できる子ども」「感謝の気持ちと思いやりの心を持つ素直でやさしい子ども」です。保育理念、保育方針、保育目標は利用者本人を尊重したものとなっています。保育理念、保育方針、保育目標をパンフレット、しおりに掲載するとともに、保育理念を玄関に掲示しています。職員に対しては、入職時に説明するとともに、年間指導計画の作成時に確認しています。</li> <li>• 保育課程は保育の基本方針に沿い、地域の実態や周囲の環境を考慮して作成されています。保育課程は、開園時に同じ運営法人の姉妹園の保育課程を基に作成し、職員に周知しました。3年目を迎え保育園としての形が出来上がってきたので、来年度に向けて全職員が関わって保育課程を見直す予定です。保護者に対しては、入園のしおりに保育課程に沿った保育内容を掲載し、入園説明会で具体的にかみくだいて説明しています。</li> <li>• 保育課程に基づき、年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画、デイリープログラム、運動計画指導案を作成しています。</li> <li>• 保育士は子どもの態度や表情、しぐさ、反応などから子どもの思いを読み取っています。言語化できる子どもからは、意見や要望を聞いています。子どもの意見や関心をもとに、散歩先や遊びを決めるなど、計画には柔軟性を持たせています。</li> </ul>

## I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- 入園説明会前に園長、副園長が親子面接を実施しています。入園時に保護者に入園調査書、健康調査書に成育歴や健康状態、家庭での状況などを記入してもらっています。子どもの情報は個別にファイルして事務室に保管し、必要な職員はいつでも見ることができます。また、職員会議でも共有しています。
- 慣らし保育について面接時および入園説明会で説明しています。慣らし保育は子どもと保護者の状況に合わせ柔軟に対応しています。入園初日は1時間くらい保護者も一緒に過ごして生活を見てもらい、子どもと保護者の安心につなげています。
- クラス担任全員で見ることとしていますが、入園後しばらくの生活面については、主に担当する保育士を決めています。
- 入園直後は在園児担当、入園児担当の保育士を決めています。持ち上がりの保育士が在園児を担当することで、在園児が落ち着いて過ごせるようにしています。3月末には新しい保育室で過ごし、新担任が少しずつ関わるようにするなどの配慮をしています。
- 子どもの発達や状況に合わせ、指導計画の作成、評価、見直しをしています。指導計画は、クラスごとに話し合い、作成しています。
- 行事後のアンケートや連絡帳に記載された保護者の意見を計画作成時に反映しています。散歩が少ないという保護者の声を受けて、散歩の頻度を増やしたなどの事例があります。

## I-3 快適な施設環境の確保



- (1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。
- (2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- 掃除マニュアルに基づき清掃が行われていて、保育園の屋内・外とも清潔に保たれています。保育室に温湿度計を設置し、エアコン、床暖房（1階）を用い、温度の管理が行われています。窓が大きく陽光を十分に取入れることができます。日差しが強い夏場にはタープを用いています。
- 保育士は穏やかに子どもに話しかけていて、保育士の声が騒音になることはありません。隣のクラスとピアノを弾く時間をずらすなどの配慮をしています。
- 1階0・1歳児トイレには沐浴設備、2階2・3歳児トイレには温水シャワーの設備があります。沐浴設備、温水シャワーの設備は使用後に清掃していて、管理が行き届いています。
- 0・1歳児保育室は仕切りや棚、敷物などを用いてコーナーを作り、小集団保育ができるようにしています。0・1歳児保育室は食べる・寝るの機能別の空間を確保しています。2～5歳児は、清掃してから布団を敷いています。
- 異年齢交流の場としては、1階ホール、2階絵本コーナーがあります。

## I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。
- (2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- 0・1・2歳児は個別指導計画を作成しています。3歳児以上についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成しています。トイレトレーニング、離乳食の進め方などは、保護者の意向を確認し、指導計画に反映しています。
- 保育所児童保育要録を作成し、副園長、担任が申し送りをしています。
- 入園後の子どもの状況は、乳児は毎月、幼児は2か月ごとに個別経過記録に記録しています。子どもの記録は個別のファイルに綴じて事務室に保管し、必要な職員がいつでも確認することができます。進級時には記録とともに、口頭でも引き継ぎを行っています。

## I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。
- (5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れています。
- 職員会議で個別のケースについて話し合っていて、会議録に記録しています。会議録は回覧し全職員で共有しています。職員は障がいなどの外部研修に参加し、最新の情報を得ています。研修報告書は回覧し、職員間で共有しています。内容によっては職員会議で取り上げています。記録はファイリングし、事務室に置かれていて、必要な時にいつでも確認することができます。
- 園内は段差のないバリアフリー構造となっています。多目的トイレ、エレベーターの設備もあります。
- 保護者の同意を得て、よこはま港南地域療育センター、南部地域療育センターの助言や指導を受けています。保育士は障がいを一つの個性として特別視することなく自然に関わるように心がけています。保育士の関わる様子を見て、子どもたちも自然に受け入れています。
- 虐待の定義、対応、連絡先、チェック方法等を記載した児童虐待防止マニュアルがあり、職員会議で全職員に周知しています。マニュアルは各保育室に置かれています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合には、港南区役所の保健師や南部児童相談所と連携しています。
- 子どものかかりつけ医による「アレルギー疾患生活管理指導表」を保護者に提出してもらい、医師の指示に基づき除去食を提供しています。食物アレルギー対応マニュアルを整備し、全職員に周知しています。職員会議で話し合うとともに、毎朝のミーティングでも栄養士が各自の除去状態について確認しています。毎月、除去食を記載した献立表を作成し、保護者に確認してもらっています。除去食を提供する場合には、調理室内、保育士への受け渡し時、子どもへの提供時に声だし確認をしています。誤食事故防止のため、別のトレイ、食器、名札を使用し、テーブルも別にし、保育士が隣についています。
- 文化や生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。入園時には保護



者に困ったことがないか意向を確認しています。中国語、英語、韓国語、スペイン語で書かれた保育園生活の資料を備えています。今まで全く言葉が通じなかった事例はありませんが、日本語が全く通じない場合には、港南区の通訳ボランティアを依頼する予定です。

## I-6 苦情解決体制



- (1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- 相談事解決責任者は園長、相談受付窓口は副園長で文書を配付するとともに、玄関に「苦情相談の流れ」を掲示し、保護者に周知しています。玄関に第三者委員の氏名、役職、連絡先を掲示しています。また、他機関の苦情解決窓口として、横浜市福祉調整委員会のポスターを掲示し、保護者に紹介しています。
- 玄関、階段に意見箱を置いています。年2回の懇談会、行事後のアンケートを行い、保護者の意見や要望を聞いています。保育士は日々の保護者とコミュニケーションの中で保護者の意向を確認しています。また、連絡帳からも把握しています。
- 要望、苦情などは職員会議で取り上げ、対応について話し合っています。意見や要望などは事故報告書や懇談会の記録などに記載されています。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<h3>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</li> <li>(2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</li> <li>(3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</li> <li>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</li> <li>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配</li> </ul>	<div style="text-align: right;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各保育室のコーナーや棚に設定するおもちゃ類は年齢や発達、子どもの興味関心にふさわしいものをその時々々に配慮しています。子どもは好きなコーナーを選んで落ち着いて遊んでいます。</li> <li>• 一斉活動の時間と全員が自由に遊びこめるだけの時間を、年齢によりバランスよく確保しています。</li> <li>• 一斉活動には様々な活動がありますが、鬼ごっこやゲームは年齢に応じて取り入れています。例えば、3歳児クラスでは椅子取りゲームを始める時、椅子に座れなくても泣いたり怒ったりしないで応援に回ることを約束し、学んでいます。観察時にも、回を重ねながら、椅子に座れなかった子どもたちが応援に回って一つになってゲームを楽しんでいる姿が見られました。</li> <li>• 4歳児クラスは花を、5歳児クラスは野菜を栽培しています。図鑑で調べたり、収穫した野菜は調理して食べています。また3歳児クラスではダンゴ虫などを、4、5歳児クラスではクワガタや鈴虫などを図鑑で調べながら育てています。5歳児クラスではまた、ヒヤシンスの水栽培をしていて、当番が「さくら組ヒヤシンス日記」をつけています。</li> </ul>

慮しているか。

(6) 積極的な健康増進の工夫が遊び  
中でなされているか。

- 園庭やテラスを乳児クラスも幼児クラスも積極的に利用しています。近隣にはいくつもの広い公園があり、週に何回か出かけ、四季折々の自然に触れています。
- 0歳児クラスから年齢に応じてリズム体操や絵本の読み聞かせ、ことばのやり取り、製作、運動遊びなどを取り入れて、子どもたちが自分の気持ちを自由に表現できるように配慮しています。
- 0歳児クラスでは、子ども同士のぶつかりや噛みつきなどが出来るだけ起こらないように、少人数グループで過ごし、保育士が見守っています。1、2歳児クラスでは、おもちゃの取り合いなどが起こると保育士が間に入って、「貸して、と言おうね」というように支援しています。幼児クラスでは子ども同士で解決できるように保育士が中に入ったり、危険がない限り様子を見守ったりしています。
- 園舎の構造が、保育室と保育室の仕切りがないため、子どもたちは自然に異年齢の子どもと触れ合っています。廊下で1歳児と4歳児が行き会くと4歳児が1歳児の子どもの名前を呼びかけて頭を撫で、1歳児も嬉しそうにまわり付くような光景も見られます。
- 各年齢とも全身を使って体を大きく動かすことを心がけています。園外では公園などで思いっきり体を動かすように配慮しています。室内でも0歳児クラスは3グループに分かれて時間差で広い室内で大きく体を動かせるように工夫し、1歳児以上のクラスでは大きいホールで年齢に応じて体操用具を活用するなどして、運動能力を高めるように計画しています。

## Ⅱ-1 保育内容[生活]



- (7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- 食事はどのクラスでも「楽しく食べる」をねらいにしています。
- 調理室は大きな窓で対面できるため、子どもたちは通りがかりにのぞいたり、声をかけたりして親しんでいます。年に1回は全クラスが調理室見学をして、実際に給食を作る様子を見せてもらったりしています。また、年に2回、1歳児クラスから5歳児クラスを対象に食育集会を設定し、栄養士や保育士がペープサートなどで健康な体作りのお話をしたりして、子どもたちが食事に関心を持つように計画しています。
- 献立は園の栄養士が1ヶ月サイクルで独自に作成しています。旬の食材を大切にし、特に行事食では季節感が感じられるように工夫しています。
- 子どもの好き嫌いに関しては、日々クラスごとに給食アンケートを書いています。それをファイルし、給食会議の時に資料として使用しています。会議で話し合い、切り方や彩り、盛り付け方を工夫します。食材のバランスを変えてみることもあります。例えば、残食が比較的多かったひじきと豚肉の炊き合わせは、ひじきの量を減らしにんじんを加えて彩りも良くしたところ、残食がほとんどなくなりました。
- 食材は、野菜と肉類は全て国産のもの、穀類と乾物類は出来る限り国産のものを使用し、野菜は産地も考慮しています。横浜市や港南区から来

る放射線情報にも配慮しています。食器は安全な強化磁器を使用しています。

- 園で献立表を作成し、毎月事前に保護者に配布しています。食物アレルギーのある子どもの家庭には個々の除去食献立表を配布しています。
- 給食室前のカウンターにレシピボックスがあり、保護者の希望するメニューも考慮して「白峰保育園レシピ」を毎月更新しています。
- 年に1回各クラスで保育参加の日程を定め、保育参加の際に食事を一緒にしてもらい、必要に応じて栄養士が相談にのっています。
- 午睡の前は落ち着いて過ごせるようにカーテンを閉め、絵本を見たり読んでもらったり、お話を聞いたりして、静かに眠りにつくようにしています。
- 5歳児クラスは夏のプールの時期以外は午睡をしていますが、個々の子どもの状況に合わせ、必要な子どもは4歳児と一緒に午睡をとるようにしています。
- トイレトレーニングは個別の発達状況を考慮して保護者と連携し、まずおまるに楽しく座ることから始め、褒めながら進めています。
- 園の方針で、園にいる時は布オムツを使用し、個別に排泄リズムをとらせています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- 健康管理マニュアルがあり、それに基づいて職員が子どもの健康状態を把握しています。
- 健康診断・歯科健診の結果は、個々の健診結果表を保護者に配布して伝えています。
- 健診結果の状況により、必要な場合は家庭がかかりつけ医と相談等をするようにし、その結果により園では嘱託医・保護者と連携します。
- 食後の歯磨きは1歳児クラスから始め、5歳児クラスまで仕上げ磨きを保育士がしています。
- 感染症の予防や対策に関するマニュアルがあり、マニュアルには登園禁止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応が明記されています。保護者に対しては入園のしおりにそれらを明記しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- (4) 衛生管理が適切に行われているか。

- 衛生管理マニュアルがあります。マニュアルは各クラスに備え、職員がいつでも確認できるようにしています。
- マニュアルは新情報が入った場合や必要な状況になった場合、例えばインフルエンザが流行したような場合に、職員参加で見直しています。また、必要に応じて研修を実施しています。例えば嘔吐物の処理方法は毎年、1階、2階の職員それぞれを対象に実習形態で行っています。
- 掃除マニュアルがあり、それに基づいて清掃をしています。園舎内は清潔に保たれています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- |   |  |
|---|--|
| <p>(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6) 事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>• 安全管理マニュアルとして、災害・非常時マニュアル、事故予防マニュアル、事故対策マニュアル等があります。マニュアルは具体的に事故や災害に対応していて、各クラスに備え、周知しています。</li><li>• 事故・怪我等の発生時保護者や救急機関への連絡体制は確立していて、マニュアルにしてあります。子どものケガは軽いものであってもお迎えの時に保護者に説明し必ずその日のうちに記録します。</li><li>• 気になる事故については朝のミーティングで職員に知らせ、また職員会議で原因、対応、改善策等を検討しています。</li><li>• 園外への出入り口は電子錠を施し、保護者にはカードを配布してその都度開錠出来るようにしています。園舎にはセキュリティシステムがあり、無人の時の緊急通報体制が確立しています。</li></ul> |
|---|--|

## Ⅱ－３ 人権の尊重



- |  |   |
|--|---|
| <p>(1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p> <p>(4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>• 保育理念に「まごころをもってそだてる」、保育方針に「一人ひとりを大切に」と掲げ、その実践に努めています。日々の保育で理念や方針に照らして気になる言動があった場合には、その保育士と園長や副園長が個別に話し合います。また、職員同士で気になる言動を列挙してチェックリストを作成し、自己評価、自己課題に取り組んでいます。</li><li>• 園舎は保育室ごとの仕切りがないので、子どもが友だち等の視線を意識せずに過ごしたい場合、図書コーナーや保育室から見えないエレベーター前や階段下のスペースに行くことができます。</li><li>• 図書コーナーや保育室から見えないエレベーター前や階段下のスペースは、保育士が子どもと1対1で威圧感を与えずに話し合う場所ともなり、その他相談室やホールもプライバシーを守れる場所として使用できます。</li><li>• 守秘義務マニュアル、個人情報の取り扱いに関するマニュアルがあり、全職員に周知し、実習生にもオリエンテーションの時に周知しています。保護者には入園説明会の際に文書で説明し、了解を得ています。</li><li>• 遊びや行事の役割、服装などで性別による区別をしていません。また、順番、グループ分け、整列などは性別にしません。</li></ul> |
|--|---|


## Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- |   |  |
|---|--|
| <p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容（行事を含む）など子ども</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>• 保護者に対して、園のしおりやパンフレットなどに保育の理念や方針を明記し、入園説明会、懇談会で説明しています。その後、連絡帳、日々の会話で、保育方針が理解されているかどうかを把握するようにしています。</li><li>• 子どもの送迎時には、必ず一人一人の子どもの様子を伝えるように努力しています。乳児は日々詳しい連絡帳を使用して情報交換をし、幼児は必要な時に相互に連絡できるノートを活用しています。また、日々の保</li></ul> |
|---|--|

<p>もの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p>	<p>育の主活動を紹介する「今日の保育」を各クラスに掲示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 個別面談は5歳児クラスで実施しています。他のクラスでは希望により、また必要に応じて実施しています。保護者懇談会は年に2回実施して、クラス全体の様子や保育方針を伝えています。</li> <li>• 保護者の相談は日常的に送迎時に受けていますが、人に聞かれないで相談したい場合には相談室を使用しています。相談記録は担当保育士が内容、経過、結果、課題等を記録し、継続的なフォローが出来るようにしています。</li> <li>• 毎月「園だより」「クラスだより」「ほけんだより」を発行し、季節ごとに「給食だより」を発行しています。</li> <li>• 園では、言葉で園での活動や生活を説明できない0、1歳児についてビデオを撮り、懇談会の際に日常の保育の様子を見てもらっています。</li> <li>• 年間行事計画に保護者参観を勧める行事の欄を設け、あらかじめ日時を知らせています。行事の日は前年の保護者の要望等も参考にして決めています。</li> <li>• 保護者組織はありませんが、5歳児の懇談会の後に保護者の集いをするために場所を提供するなどしています。</li> </ul> <p>【さらに望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要に応じて個別面談に応じるようになっていますが、保護者の希望を確認し全クラスで個別面談期間をもうけるなど、個別面談の実施方法を工夫することが望まれます。</li> </ul>
---	---

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<p>Ⅲー1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<div style="text-align: right;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域担当の保育士がいます。</li> <li>• 園の見学者や子育て支援事業「保育園にあそびにきませんか」実施の際に参加した地域の人々や、子どもたちが参加するプレイパークで出会う地域の人々から子育て支援に関するニーズや施設に対する要望を聞いています。</li> <li>• 一時保育は日々主に乳児クラスにそれぞれ1～2名の利用者があります。また、子育て支援事業「保育園にあそびにきませんか」は、副園長と地域担当保育士が企画し、地域の親子と乳児クラスとが交流しながら遊ぶ交流保育や地域の親子のみが園のホールでプログラムに沿って親子で遊ぶ施設開放などを、実施しています。その他プール開放を夏季に週1回実施しています。</li> </ul>

### Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能



<p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への情報提供として、園だよりを近隣の団地自治会を通して掲示板に貼ってもらっています。また、園の見学者や子育て支援事業「保育園にあそびにきませんか」実施の際に参加した地域の人々に情報を提供し、育児相談にも応じています。</li> <li>・地域の関係機関が掲載されているパンフレットを事務所に置き、職員が情報を共有しています。</li> <li>・関係機関とは園長・副園長・事務長が担当していますが、幼保小連携事業に関しては年長クラスの担任が担当しています。関係機関との連携が必要な場合は連絡し連携できる体制があります。</li> </ul>
--	--

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<h3>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</h3> <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<div style="text-align: right;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の取り組みである「保育園にあそびにきませんか」で、豆まきなど園の行事に地域住民を招待するほか、地域の親子が園のホールで遊ぶ施設開放や夏にはプール開放をしています。</li> <li>・港南台子育て連絡会のメンバーとして、地域の団体と定期的に交流しています。また共に「焼き芋会」や「七夕祭り」などのイベントを実施し、七夕祭りではテーブルやテントを貸し出しています。</li> <li>・園の行事である花の日や感謝祭に、日ごろのお礼として保護者の持ち寄った果物や花を地域の交番、消防署、高校、短大、病院に届け、地域との友好的な関係を図っています。</li> <li>・近隣の短大のグラウンド、体育館、図書館を利用しています。図書館は月に1回程度定期的に4、5歳児が利用しています。子どもたちは好きな絵本等を楽しんだ後、全クラスのために保育士と一緒に考えながら紙芝居や絵本50冊ほどを借りて、園の教材室に置き、どのクラスでも利用できるようにしています。</li> <li>・また、地域の公園で週3回ほど開催される生き生きプレイパークを利用しています。プレイパークは市民による管理運営委員会が運営し、子どもたちの「やりたい」が発揮できる自由な遊び場をねらい、ボランティアの指導員が竹林での遊びやターザンロープなど普通の公園では体験できないような遊びを指導してくれています。</li> </ul>
<h3>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</h3> <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提</p>	<div style="text-align: right;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所に園のパンフレットを置いています。ホームページは現在準備中です。</li> </ul>


<p>供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園への問い合わせには、園長・副園長・事務長のいずれかが常時対応出来るようにし、見学者ほか希望者にはパンフレットに基づいて園の保育の理念、方針、内容、職員体制等の情報を提供しています。</li> <li>見学者には園児が主活動をする午前の時間帯の見学を勧めています、希望の日時にも配慮して一家族ずつ対応しています。</li> </ul>
---	--

### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



<p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習生受け入れマニュアルがあり、それに基づいて実習生に園の理念、方針、諸注意等を説明しています。</li> <li>実習生の受け入れは副園長が担当し、実習目的に応じた実習が出来るようにプログラムを共に考えます。実習中は受け入れクラスの担当保育士が日々話し合っって実際の指導をし、記録しています。</li> <li>実習の終わりには反省会をし、園長と副園長、担当保育士が実習生と意見交換をしています。</li> </ul> <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア受け入れのためのマニュアルがあり、ボランティアに説明する園の理念、方針、諸注意等が記述されていますが、まだボランティア受け入れの実績はありません。</li> <li>近隣の高等学校の学生が来園し、園のホールで幼児対象に絵本の読み聞かせや楽器演奏をしています。これを単なる交流の受け入れではなく、例えば高校生ボランティアとして位置づけ、学生の履歴にもなり、場合により保育士育成にもつながるような受け入れ方を学校側とも検討することが望まれます。</li> </ul>
--	--

## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）
<h3>V-1 職員の人材育成</h3> <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>人材の補充にあたっては、理念、方針を理解し継承できる人材を採用の基準としています。関連する学校法人の女子短期大学から人材を確保しています。年度初めの園長面談で自己、クラス、園の3つの目標・課題を設定し、中間期の面談で中間評価し、年度末の面談で年度の達成度の評価をしています。</li> <li>コミュニケーション、子どもに対する対応、地域療育などのテーマで園内研修を実施しています。ノロウィルス、食物アレルギー対応等の研修には非常勤職員も出席しています。職員は、横浜市や白峰学園保育センターなどの研修に積極的に参加しています。研修に参加した職員は研修報告書を提出しています。研修報告書は回覧し、職員間で共有し、保育</li> </ul>

の現場で活かしています。内容により、職員会議で報告することもあります。

- 業務マニュアルを各保育室に置き、いつでも見ることができます。
- 業務にあたっては必ず常勤職員と非常勤職員が組むようにしています。非常勤職員も内部研修や外部研修に参加することができます。非常勤職員の指導担当は副園長、クラス担任で職員間のコミュニケーションが図られています。

【さらに望まれる点】

- 開園時、運営法人の系列 2 園からの職員と新しく採用された職員が一緒になり、理念、方針に沿った園作りを目指してきました。開園から 3 年間、作文や自己研修、自己評価等を通し、それぞれの経験や適性、のびしろ等を把握してきました。今後は、自己評価等の結果をもとに個々の経験や適性を踏まえた職員育成計画を作成していくことが望まれます。

## V-2 職員の技術の向上



- (1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。
- (2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。
- (3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。

- 保育士は年度始めに目標設定し、年度途中、年度末に達成度の評価をしています。保護者から好評だった事例を取り上げ、職員会議で取り組みが継続していけるように話し合うなど、良い事例を基に改善に向けて取り組んでいます。南部地域療育センターのケースワーカーや作業療法士に保育の様子をみてもらい、指導、アドバイスを受けています。
- 年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画、日誌などには、自己評価の欄があり定型化されています。自己評価は計画で意図したねらいと関連付けて行われています。
- 指導計画には、子どもの育ちや取り組む時の子どもの姿が丁寧に書かれていて、自己評価もその視点にそって行われています。自己評価の結果をその後の計画作成に反映しています。
- 保育士は、クラス会議や職員会議で自己の保育について振り返り、話し合っています。昨年度は、子どもに対する対応について KJ 法を用いて気が付いたことを出し合い、理念の実現に向けた保育が実践されているかについて話し合いをしました。
- 園長、副園長は保育士の自己評価の結果から保育所としての課題を明らかにし、改善に向けて取り組んでいます。

【さらに望まれる点】

- 保育士個々の自己評価をまとめ、保育園としての自己評価を行い、公表することはしていません。素地は出来上がっているため、今後は個々の保育士の自己評価を基に園としての自己評価を実施することが期待されます。



### V-3 職員のモチベーション維持



(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

・職務分担表を作成し、個々の職員が果たすべき職務を明確にすることで、現場の職員に可能な限り権限を委譲しています。自己評価の様式に提案を記載する欄を作り、業務改善に向けた提案を募っています。また、職員会議や園長面談で職員の提案を聞いています。

**【課題・望まれる点】**

・経験・能力や習熟度に応じた役割を期待水準として明文化することはしていません。保育士が自分で確認し見通しを持てるよう、明文化することが期待されます。

## 評価領域VI 経営管理

評価分類		評価結果
評価分類に含まれる評価項目	評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例）	
<h3>VI-1 経営における社会的責任</h3>		
<p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>・運営規程、就業規則に組織及び職員が守るべき法、規範、倫理などを明文化し、職員に周知しています。横浜市や新聞報道等から得た不正・不適切事案についての情報はその都度職員に周知し、注意喚起しています。</p> <p>・運営法人の広報誌に決算報告書を掲載し、職員や保護者、港南区役所などの関係機関に配布しています。</p> <p>・廃材を用いて手作りおもちゃを作ったり、製作の素材として用いたりしています。ゴミの分別を行っていて、ゴミの分別法を記載した「リサイクルのすすめ」を各保育室に掲示しています。電灯は全てLEDを使用しています。また、こまめに電気を消すなどしています。緑化の取り組みとしては、園庭に木を植えたり、朝顔でグリーンカーテンを作ったりしています。</p> <p>・園は、「よこはまエコ保育園」として認定されていて、その旨を入口に掲示しています。</p>	
<h3>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</h3>		
<p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>・玄関に保育理念を掲示し、職員に明文化したものを配付しています。入職時の研修で園の理念や方針を説明しています。年間指導計画を作成する時に確認するほか、必要に応じて朝礼や職員会議で取り上げ話し合っています。園内研修でも取り上げています。園長、副園長は保育の様子を見て回るとともに、日誌や指導計画等に目を通し、職員が理念、基本方針に沿った保育をしているかを確認しています。また、園長面談でも確認しています。</p> <p>・駐車場の問題や避難通路の確保のための工事などの事案に関しては、職</p>	

員に対しては職員会議で目的や経緯を説明しています。保護者に対しては、お便りや掲示で経過を説明し、質問に答えています。

- 異年齢保育や行事、食育等に関して、異なる部門の職員で検討チームを編成して取り組んでいます。
- 現在、主任の配置はなく、副園長が主任の役割を兼ねています。副園長は、保育の様子を見て回るとともに、日誌や指導計画に目を通し、個々の職員の業務状況を把握しています。副園長は、個々の職員の能力や経験に合わせ、必要な助言や指導をしています。副園長は、職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、職員に声をかけ、相談にのっています。

**【課題・望まれる点】**

- スーパーバイズできる主任クラスを計画的に育成するプログラムはありません。今後主任クラスの育成を含めた、職員育成計画を作成することが期待されます。

### VI-3 効率的な運営



- (1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。
- (2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- 園長は、横浜市や港南区の園長会や港南台地域の子育て連絡会、大学関係者などから事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。重要な事案は運営法人理事会で報告するとともに、園長、副園長、事務長で話し合い重点改善課題として設定されています。重点改善課題はリーダー会議や職員会議で報告し、保育園全体の取り組みをしています。
- 運営法人は、次代の組織運営に備え運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討しています。副園長を配置するなど、次代の施設運営に備え、計画的に後継者を育成しています。税理士や弁護士、社会保険労務士などの意見を取り入れています。

**【課題・望まれる点】**

- 年度ごとの事業計画は作成していますが、中長期的な計画は作成されてなく、今後の課題となっています。3年間の総括を基に、中長期的な計画を作成されることが期待されます。

## 利用者（園児）家族アンケートの結果概要

●実施期間

2016年7月26日～8月10日

●実施方法

- ① 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
- ② 各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。

●回収率

57.7%（71枚配布、41枚回収）

### 【結果の特徴】

※以下で「満足度」とは、「その他」「無回答」を除く回答総数における、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計の割合です。

(1) 満足度が高かった項目

問2：園の目標や方針についての説明には。費用やきまりに関する説明については（入園後に食い違いがなかったなども含めて）	100.0%
問4：園のおもちゃや教材については（お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど）。遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては。遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては。お子さんが給食を楽しんでいるかについては。お子さんの体調への気配りについては	100.0%
問5：お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	100.0%
問7：あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては。話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	100.0%

(2) 満足度が低かった項目

問4：子どもが外遊びを十分しているかについては	80.0%
問5：外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	81.1%
問4：自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	82.1%

(3) 総合満足度

問8：総合満足度は	95.2%
-----------	-------

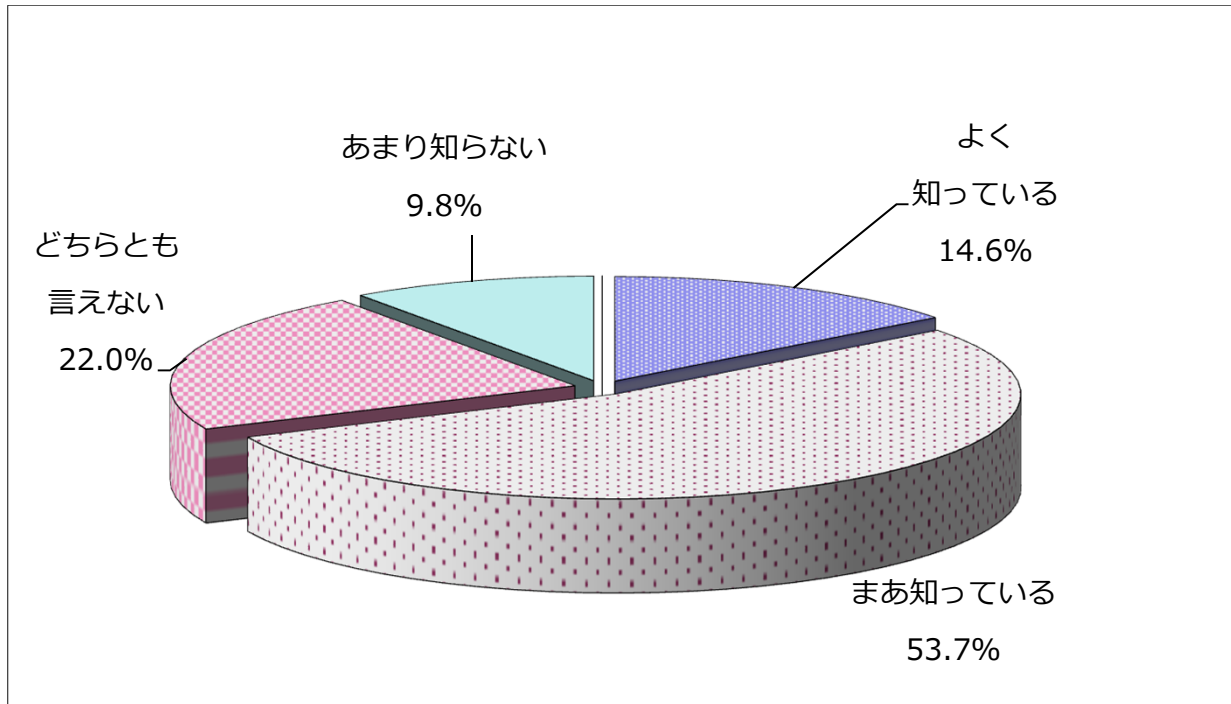
(4) 中項目ごとの平均満足度

問2：入園時の状況について	96.5%
問3：年間の計画について	93.3%
問4：日常の保育内容「遊び」について	93.3%
問4：日常の保育内容「生活」について	97.8%
問5：快適さや安全対策などについて	92.2%
問6：園と保護者との連携・交流について	93.4%
問7：職員の対応について	97.3%

# 利用者（園児）家族アンケート 集計結果・分析

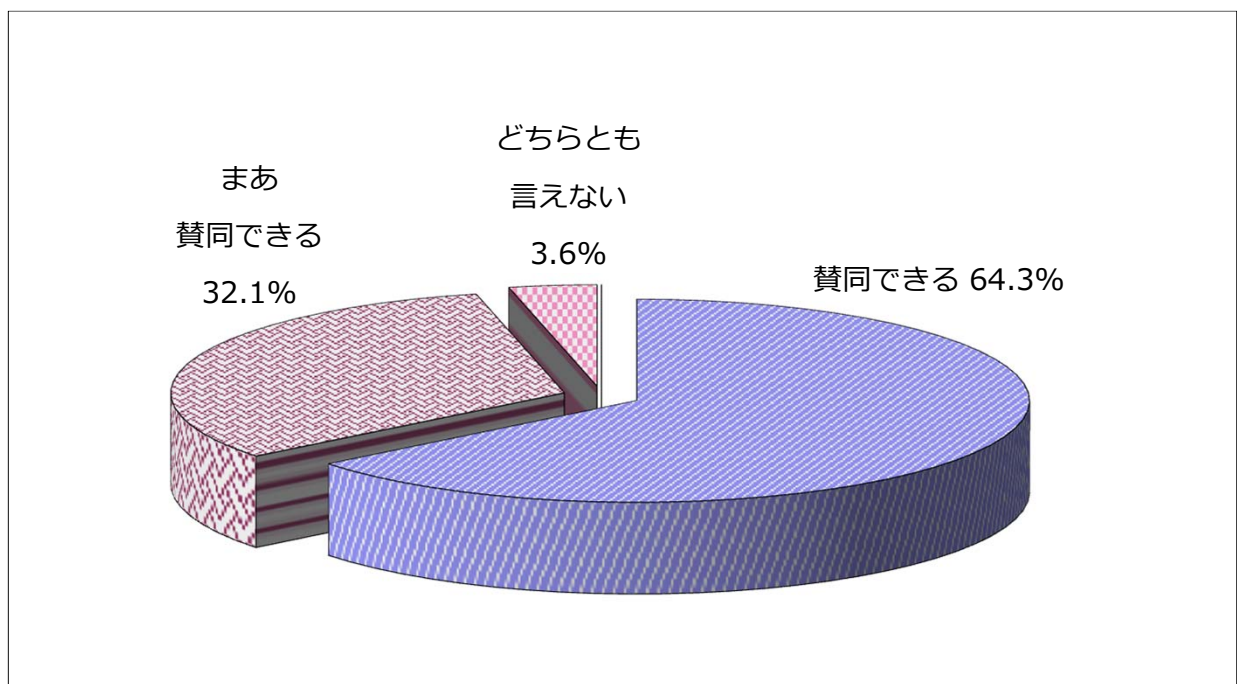
## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

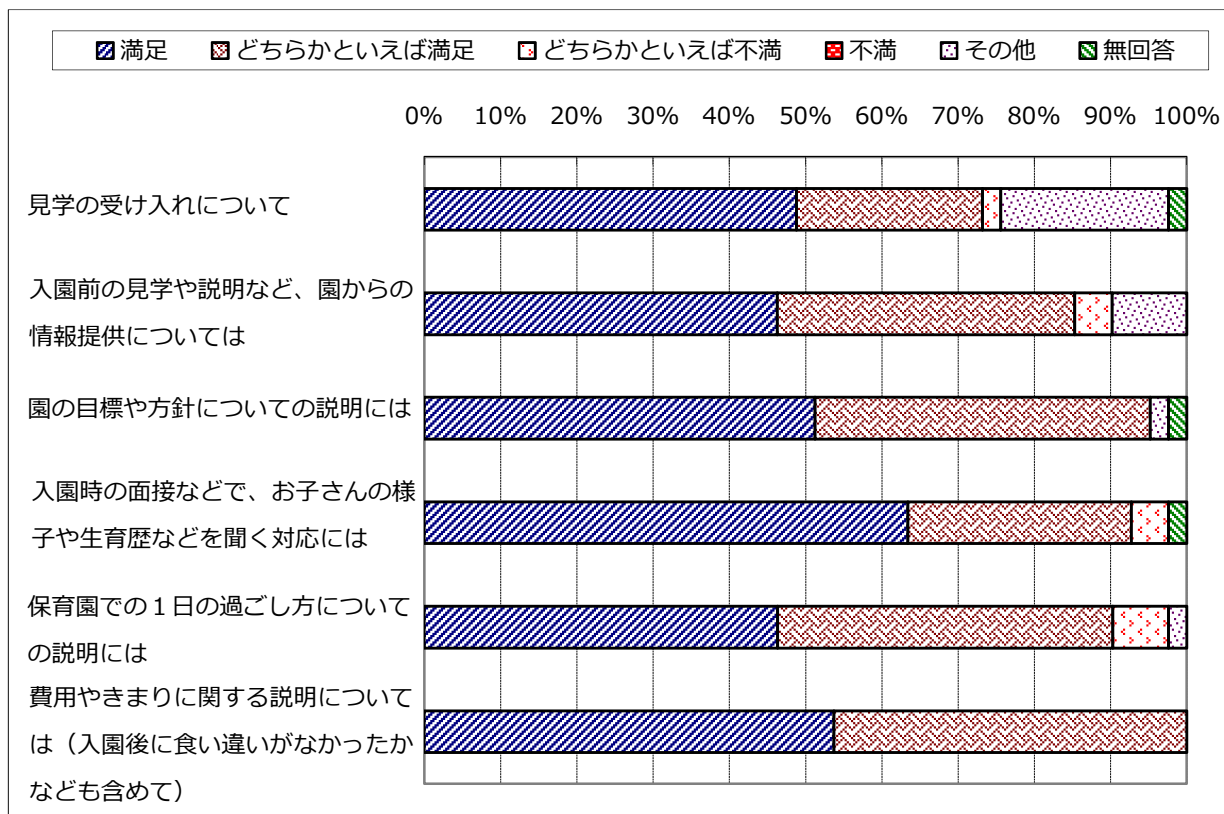


## ■ 保育園のサービス内容について

(%)

### 問2 入園時の状況について

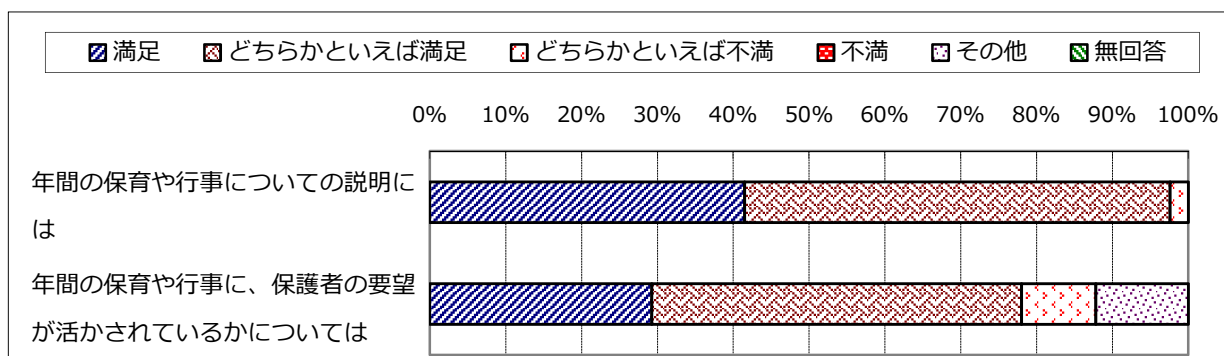
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについて	48.8	24.4	2.4	0.0	22.0	2.4
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	46.3	39.0	4.9	0.0	9.8	0.0
園の目標や方針についての説明には	51.2	43.9	0.0	0.0	2.4	2.4
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	63.4	29.3	4.9	0.0	0.0	2.4
保育園での1日の過ごし方についての説明には	46.3	43.9	7.3	0.0	2.4	0.0
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	53.7	46.3	0.0	0.0	0.0	0.0



(%)

### 問3 年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	41.5	56.1	2.4	0.0	0.0	0.0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	29.3	48.8	9.8	0.0	12.2	0.0

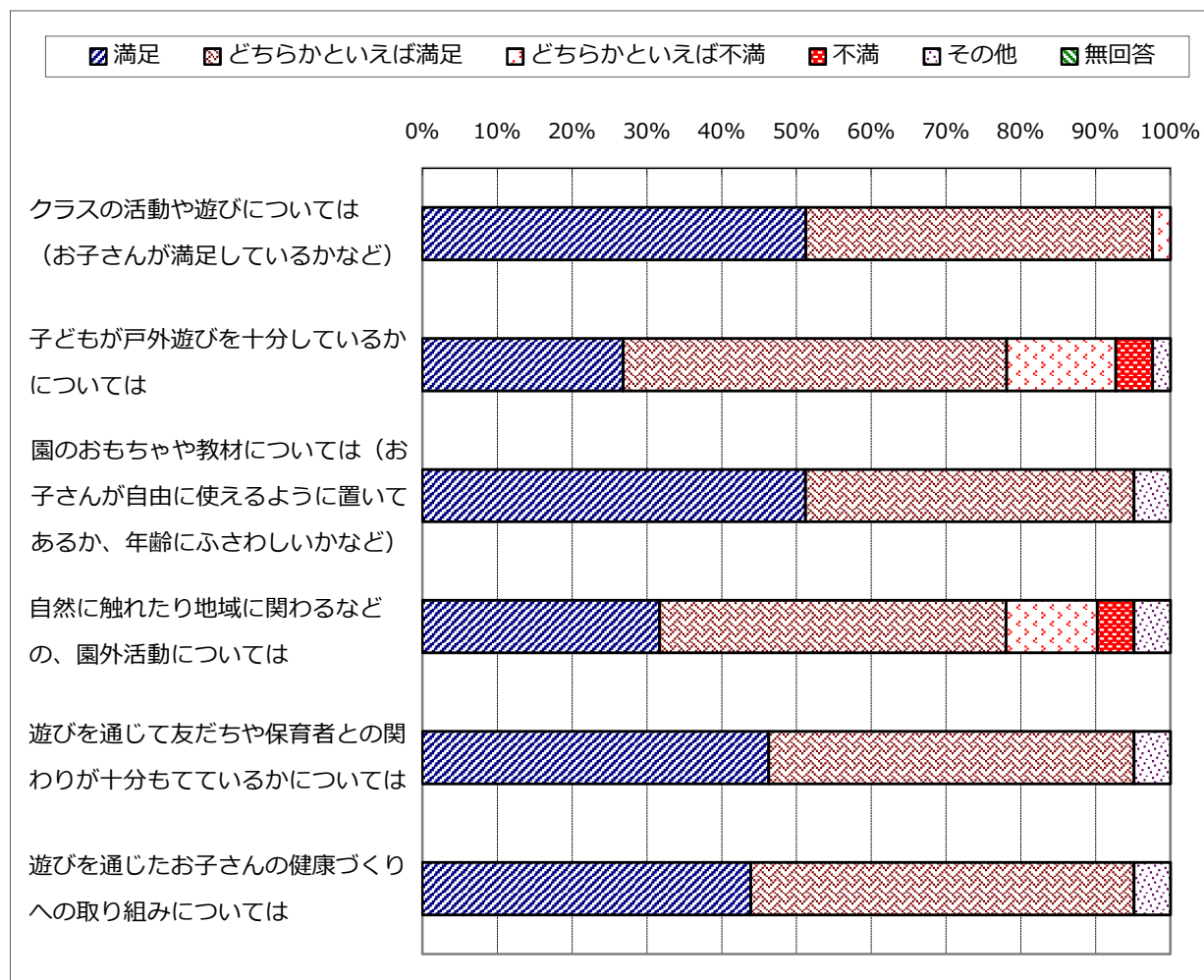


## 問4 日常の保育内容について

### ● 「遊び」について

(%)

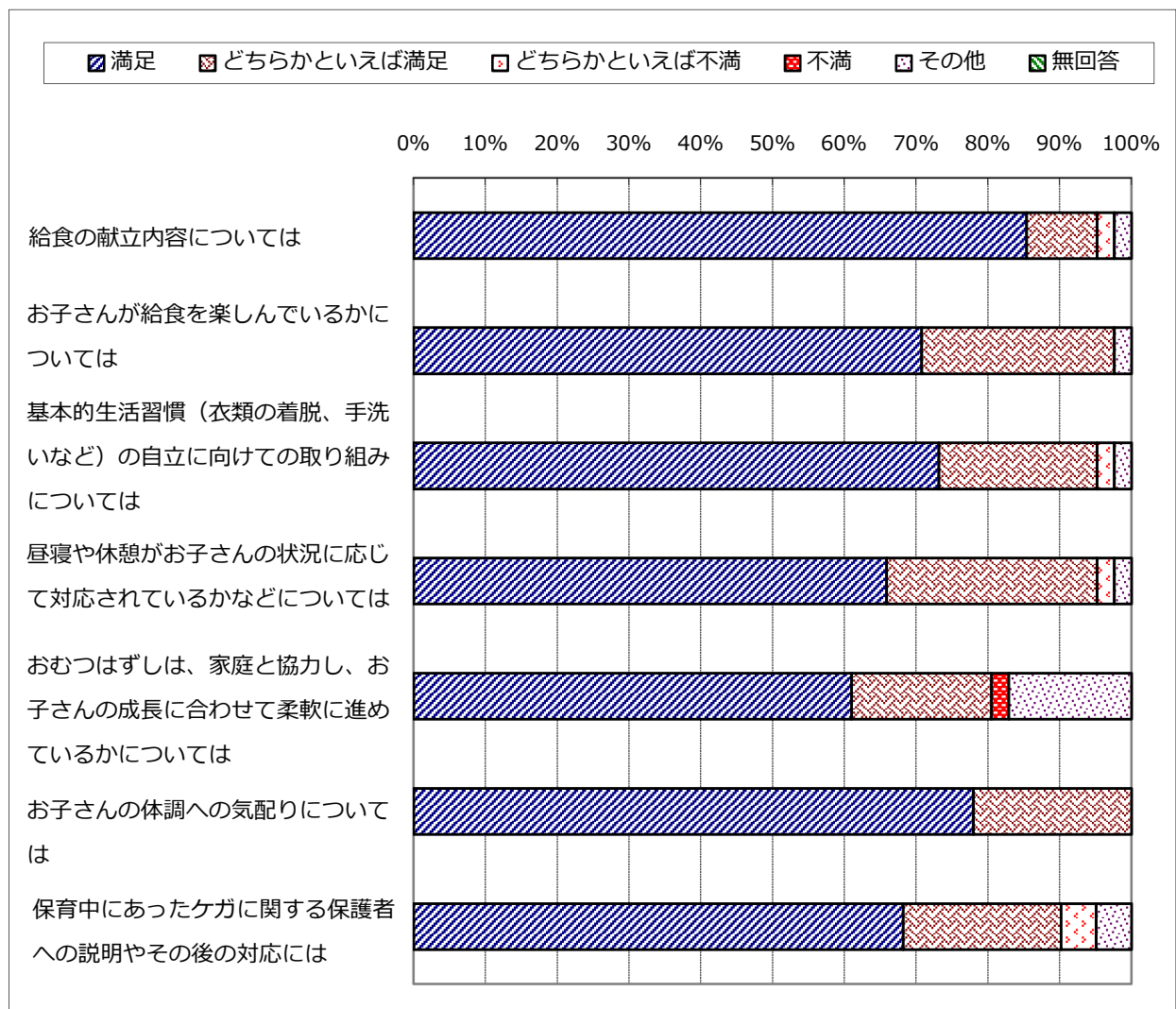
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	51.2	46.3	2.4	0.0	0.0	0.0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	26.8	51.2	14.6	4.9	2.4	0.0
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	51.2	43.9	0.0	0.0	4.9	0.0
自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については	31.7	46.3	12.2	4.9	4.9	0.0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	46.3	48.8	0.0	0.0	4.9	0.0
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	43.9	51.2	0.0	0.0	4.9	0.0



●「生活」について

(%)

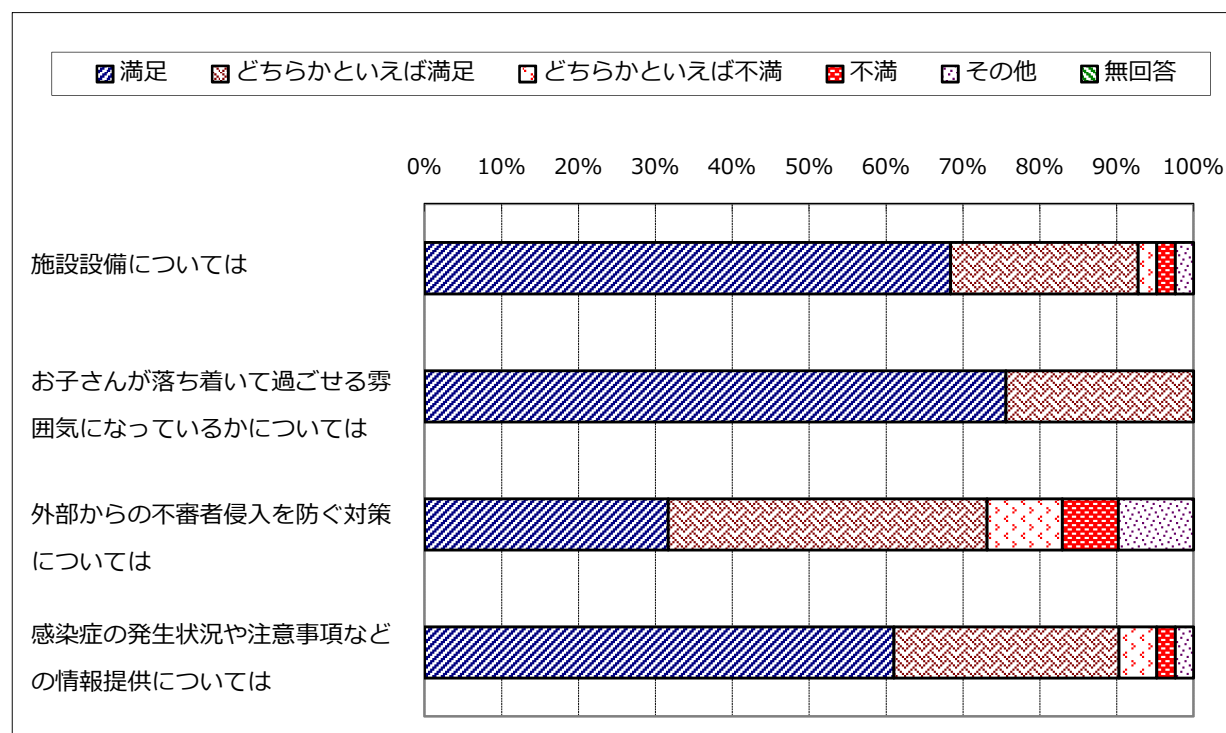
	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	85.4	9.8	2.4	0.0	2.4	0.0
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	70.7	26.8	0.0	0.0	2.4	0.0
基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	73.2	22.0	2.4	0.0	2.4	0.0
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	65.9	29.3	2.4	0.0	2.4	0.0
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	61.0	19.5	0.0	2.4	17.1	0.0
お子さんの体調への気配りについては	78.0	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	68.3	22.0	4.9	0.0	4.9	0.0



## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	68.3	24.4	2.4	2.4	2.4	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	75.6	24.4	0.0	0.0	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	31.7	41.5	9.8	7.3	9.8	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	61.0	29.3	4.9	2.4	2.4	0.0

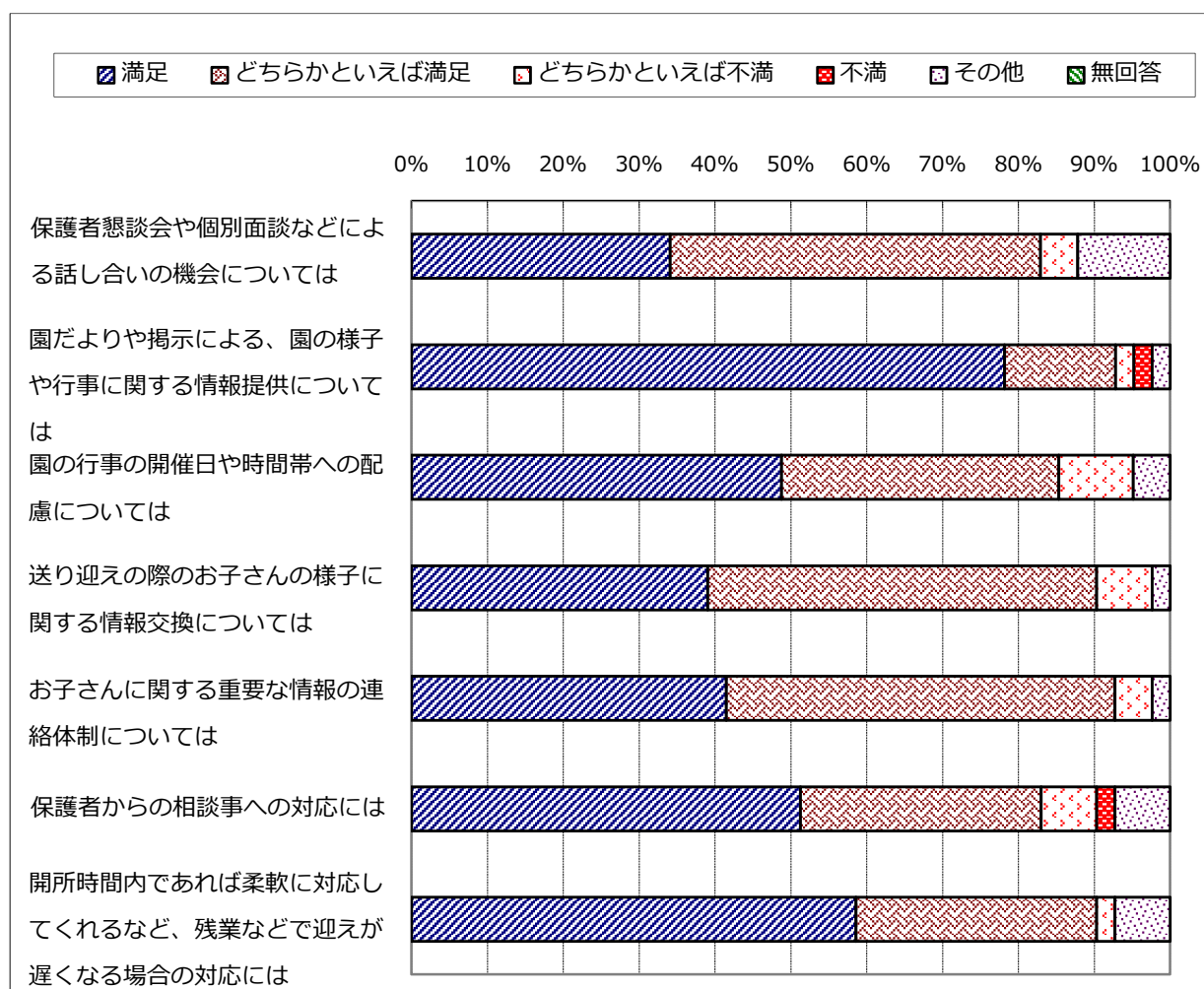




## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

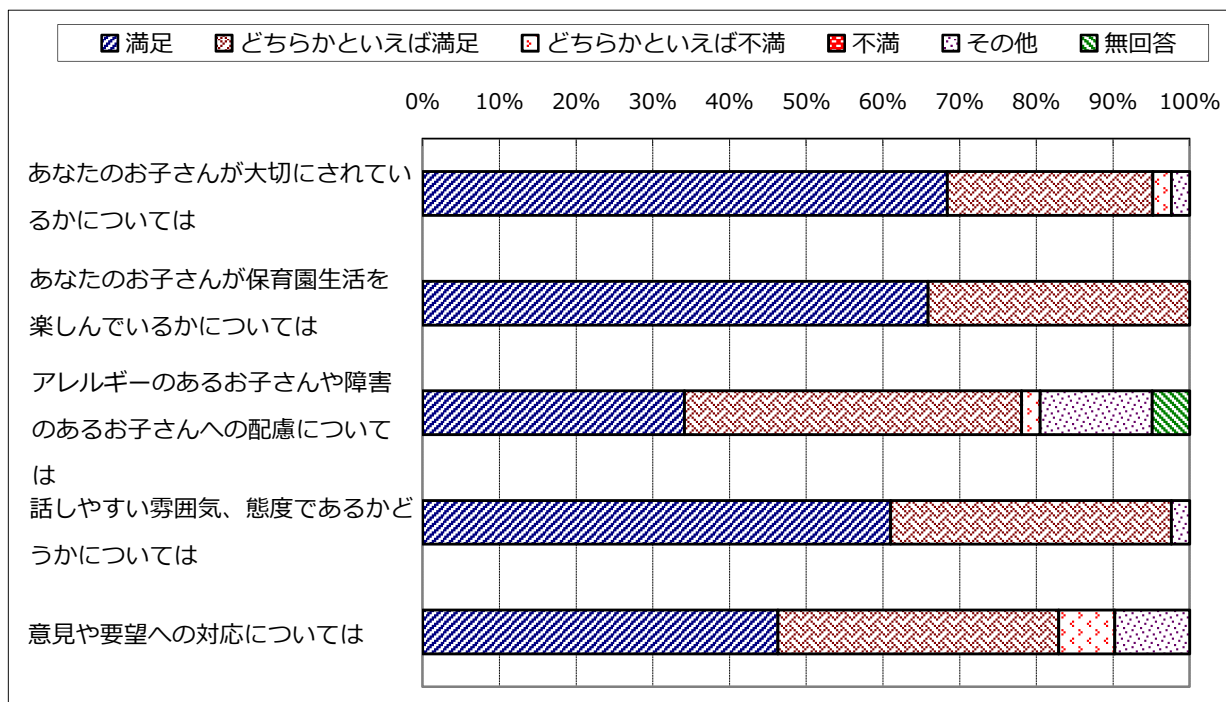
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	34.1	48.8	4.9	0.0	12.2	0.0
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	78.0	14.6	2.4	2.4	2.4	0.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	48.8	36.6	9.8	0.0	4.9	0.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	39.0	51.2	7.3	0.0	2.4	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.5	51.2	4.9	0.0	2.4	0.0
保護者からの相談事への対応には	51.2	31.7	7.3	2.4	7.3	0.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	58.5	31.7	2.4	0.0	7.3	0.0



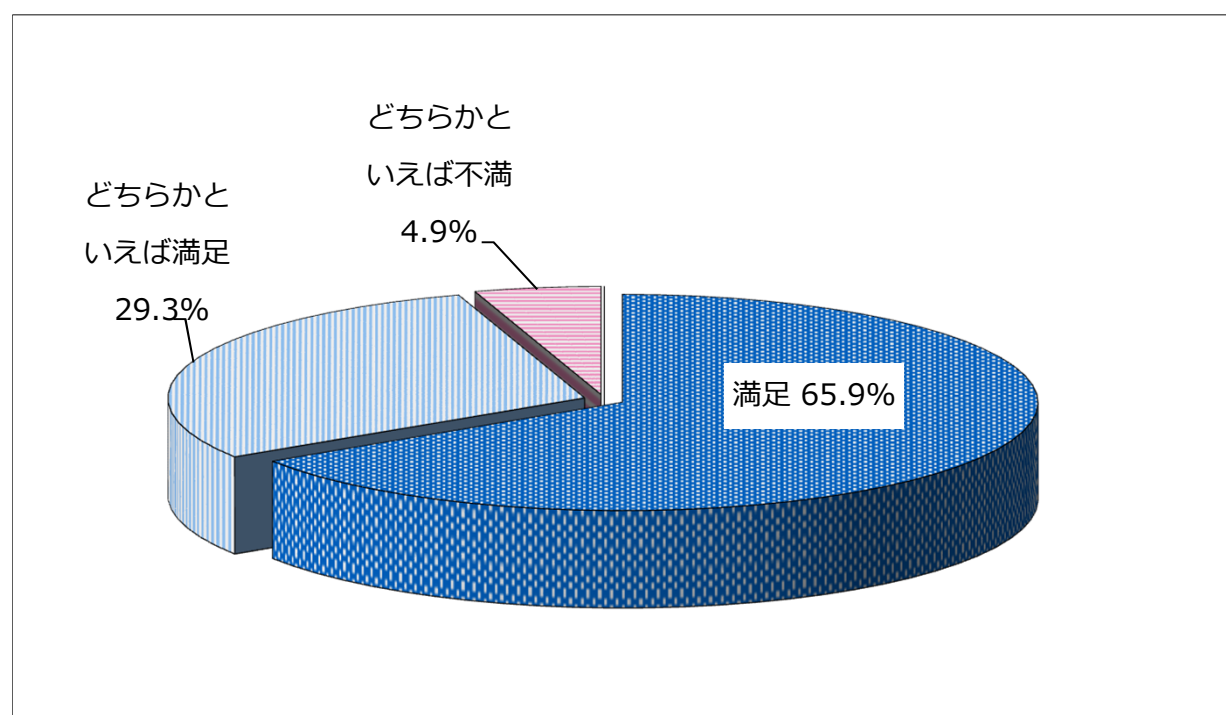
### 問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	68.3	26.8	2.4	0.0	2.4	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	65.9	34.1	0.0	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	34.1	43.9	2.4	0.0	14.6	4.9
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	61.0	36.6	0.0	0.0	2.4	0.0
意見や要望への対応については	46.3	36.6	7.3	0.0	9.8	0.0



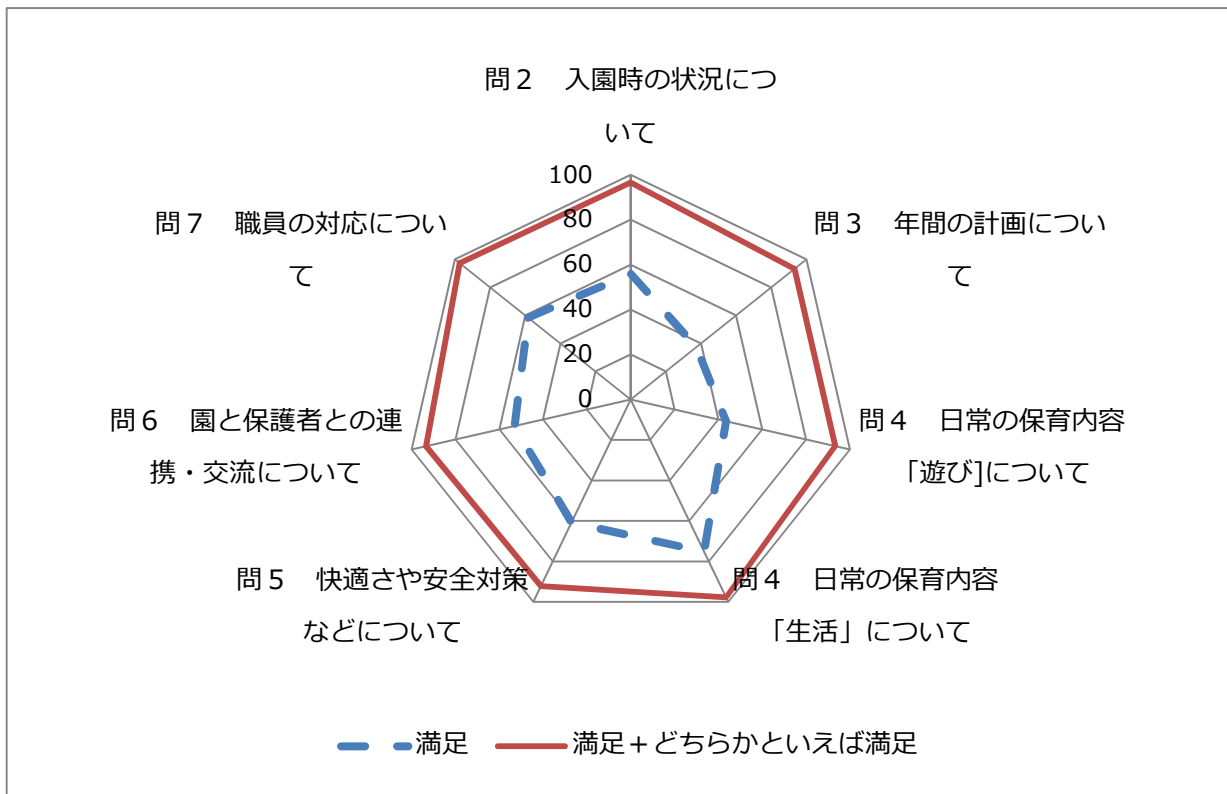
### 問8 保育園を総合的に評価すると



【参考資料：中項目別平均満足度割合】

(%)

中項目	満足	満足+どちらかといえば満足
問2 入園時の状況について	56.0	96.5
問3 年間の計画について	37.4	93.3
問4 日常の保育内容 「遊び」について	43.5	93.3
問4 日常の保育内容 「生活」について	75.1	97.8
問5 快適さや安全対策などについて	60.8	92.2
問6 園と保護者との連携・交流について	53.0	93.4
問7 職員の対応について	58.4	97.3



※各中項目は、2～7つの小項目によって構成されており、各小項目の満足度割合から平均値を算出した。

※ここでの「満足度割合」は「その他」「無回答」を除外して計算してある。

## 利用者（園児）本人調査の結果概要

実施日：1月12日（木曜日）、1月20日（金曜日）

実施方法：観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。

幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

### ●0歳児クラス

0歳児クラスの保育室は1歳児保育室と共同の広いワンルームになっています。0歳児クラスは主に大きな畳のコーナーで過ごしていますが、食事の時は1歳児とテーブルをならべています。

個別対応を大切にしているので、主活動の時間には3グループに分かれて小グループで遊びます。園庭の砂場に行くグループは比較的月齢の高い子どもで、砂場では自然に1歳児と一緒に座って砂で遊びます。部屋でシール貼りをするグループは机に向かって座り、落ち着いて黙々と取り組みます。園庭でバギーに乗る這い這いのグループは、シール貼りのグループがシール貼りが終わって園庭に出ると、室内に戻ります。1歳児も園庭に出ているので広いワンルームを自由に使えます。子どもたちはカタカタを押ししたり、保育士が走らせる押し車を追いかけたり、力いっぱい体を動かします。フリーの保育士が全体を見守り、3グループがぶつからずにスムーズに活動できるように気を配ります。この時期食事は授乳の子どもを除いて一緒にしていますが、グループごとに保育士の介助の程度が違います。ある程度子どもたちの食事が進むのを見届けると、保育士も同じ給食を子どもたちと一緒にいただきます。午睡の時間も差があり、一つのグループは食後ホールのコーナーでしばらく遊んでいました。

### ●1歳児クラス

1歳児クラスも3グループに分かれていて、食事やトイレなど生活面ではグループ担任と一緒に動きますが、遊びは全員一緒です。子ども同士の関わりも出てきていて、自分たちで面白い遊びを作り出したりしています。一人がレゴブロックの部品に人形を乗せてエレベーターに見立てて上げたり下げたりしていると、他の子どもがやってきて、一緒におしゃべりをしながら色々な人形を乗せて遊びます。ところがこれが人気になり、別の子どもが来て取り合いが始まりました。すぐに保育士がやってきて、「貸して」「交換」などと教えます。紙芝居や絵本の読み聞かせも全員が一緒に集中して楽しみます。「まるいものなんだ」の「だ」だけ子どもが声を合わせ、「目玉焼き」「風船」「おばけ」などと子どもたちが活発に答えます。

朝のおやつのおあと、トイレでオマルに座り、紙おむつを布オムツに取り替えます。トイレに行くのを嫌がる子どもには無理強いはしません。少し時間をおいてから誘っています。

食事は全員がスプーンとフォークで上手によく食べます。保育士は魚を刻んだり、嫌がる子どもには魚の皮を取り除いたりします。「お魚ください」「お味噌汁ください」などとおかわりをする子どもも多くいます。途中で遊びだした子どもには「一口食べたら終わりにしようね」と声をかけ、少しだけ食べさせて終了しました。

### ●2歳児クラス

朝は3歳児室で3歳児と一緒に遊びます。ブロックコーナーで遊ぶ子ども、プラレールをつなげたり、絵本を持ってきて見ている子ども、と色々です。つまらなそうに一人でプラレールの電車を振り回している子どもがいると、保育士が来てやりとりをして一緒に遊び始めました。子どもに笑顔が見え電車をつなげて遊び、保育士に「見て、見て～」と見せに行っていました。9時ごろにおやつになりますが、遊んでいる2

歳児が6人ずつぐらい何回かに分けて2歳児室に呼ばれます。おやつを食べ、トイレに行って、また3歳児室で遊びを続けます。

トイレでは保育士が見守ります。うまく排泄する子どももいます。全員家からは紙おむつで来ますが、園では布オムツやパンツにはき替えます。はきやすいようにパンツやズボンを置いてもらい、自分で取り組む子どもが多いです。

その日の主活動は運動遊びでした。ホールに行き、はだしになってますリズム体操で体を温め、それから跳び箱、鉄棒、平均台、飛び石の渡り歩きなどです。みんな、慎重にゆっくりとゴールまで進みます。

食事は箸を使う子どもが多くなってきています。みな静かに全部食べ、おかわりをする子どもも多いです。

### ●3歳児クラス

午前中は自由に好きな遊びをする時間がたっぷりありました。いくつかのコーナーが設定しており、登園してきた子どもは保育士に挨拶し握手をして、保育室のいくつかのコーナーを見回し、気に入ったコーナーに行き、「入れて」と声をかけて一緒に遊び始めます。1人でジグソーパズルなどに取り組む子どももいますが、2~3人、4~5人でおしゃべりしながらパズルをしたり絵本を見たり、電車を走らせたりする子どもが多いです。その後、礼拝で静かに気持ちを落ち着けてからその日の主活動に入ります。この日に最も子どもたちが勢いづいたのは「椅子取りゲーム」でした。押したり走ったりしない、椅子に座れなくても泣かないで応援にまわる、などの約束事を確認し、ピアノに合わせてゲームが始まります。椅子に座れず応援に回る子どもが多くなるほどに声援がにぎやかになりました。「もう一回やりたい」という声がたくさんありましたが、時間切れでおやつの後にする事になりました。

子どもたちは保育士の言葉がけにしっかり耳を傾け、片付け、順番、並ぶ、座るなど、指示に従って行動し、手洗い、トイレ、食事、歯磨き、着替えなどは自主的にしています。保育士は見守り、歯磨きは保育士が仕上げをしてあげます。

### ●4歳児クラス

朝は4歳児室で5歳児と一緒に遊びます。かるたやお絵かき、ブロック、ままごとなどです。大きな声を出す子どもや走り回る子どもはいません。静かな雰囲気の中でみんな遊びに熱中しています。2~3人で遊ぶ子どももいます。保育士の合図で片づけが始まり、4歳児と5歳児が挨拶して、5歳児は部屋を出て行きます。

子どもたちは椅子を持って部屋の中央でアーチ形に並んで座ります。保育士は絵本を開いて大豆の話をしました。味噌やしょうゆも大豆から作られている、と言う話を子どもたちは熱心に聞きます。子どもたちは絵本にはいつも集中です。そして集会になりました。挨拶、出欠確認、お祈り、賛美歌そしてその日の活動に入ります。何回かやっているハンカチ落としのルールを確認すると、自信のない子どももいました。鬼がハンカチを落とすまでなかなか待たずに落ち着かない子どももいましたが、何とか楽しみました。その後テラスで思いっきり走り回り、息を切らして室内にもどります。

当番が机を拭いて、食事の準備が始まります。配膳は子どもたちが自分のものを慎重に机に運びます。お箸を上手に使い、全員が食べきりました。

### ●5歳児クラス

朝の集会で保育士が「木の芽」について説明し、その日は冬の自然を探しに行く、と知らせます。子どもたちの希望で図鑑を持って行くこととなります。4歳児クラスの賛美歌などが終わったところで礼拝になりました。子どもたちは静かに目を閉じ、それからきちんと立って賛美歌や今月の聖句を暗誦します。

散歩は4、5歳児で一緒に出かけました。木の芽を見つけるごとに保育士が子どもたちに観察するように

声かけをします。公園では鬼ごっこで走り回った後、4, 5歳児がわかれ、5歳児クラスは凧揚げをしました。保育士のヒントで風向きを意識するようになり、上手に揚げられるようになります。そのうちに、凧揚げを続ける子ども、山の斜面の上り下り、探検ごっこ、と自由に遊びが発展します。探検ごっこは木の根にある穴の中をのぞいたり、枝を集めて薪に見立てご飯を作ったり、棒で土の中をつついたりし、そのうちに魔法使いが出てきて戦いが始まる、と、遊びが広がり、子どもたちは生き生きとしています。

食事の時にはテーブルごとに今日の食材について考え、発表します。そして発表した食材が赤・黄・緑のどれかをゲーム形式で考えました。食後の歯磨きは最後に保育士が仕上げをします。当番はヒヤシンスの水栽培を見ながら、「さくら組ヒヤシンス日記」を書いていました。

## 事業者コメント

当施設は創立3年目に「福祉サービス第三者評価」受けました。この時期にできたことは保育所運営の各の面について、振り返りと再構築の良い機会になりました。園の自己評価をするため、全職員で話し合いを重ね、連携を深める機会となりました。また、利用者（園児）家族アンケートは、ご多用の中ご協力頂き心から御礼申し上げます。ご満足頂きました点は維持向上に努め、ご満足を十分いただけなかった点は反省、検討し、向上に努めたいと思います。コメントについてはその思いを理解し、今後活かしていきたいと思います。

創始者平野恒が掲げた保育理念を現代の保育に活かし、実践していることを評価して頂き嬉しく思います。今後も良き実践に努めたいと思います。地域の子育て支援の取り組みについては、今後はボランティア等の受け入れなど、さらなる充実を図っていききたいと思います。職員のモチベーションを維持するためにその主体性を生かし、園運営の一端を担う意識と遣り甲斐を高めたいと思います。

設立初期3年間の振り返り、今回の評価結果を基に中期、長期を見通すなかで「保育課程」等の見直しを行い、保育実践の充実を図りたいと思います。また、利用者（園児）の最善の利益を実現するために、保育参観、保育参加、丁寧な説明、情報の提供等による保護者との連携を深め、家庭支援の充実を図る方針です。

JR 京浜東北根岸線港南台駅から徒歩10分ほどにあり、栄区の区界にあります。環状三号線に沿って、向かいに神奈川県立横浜明朋高等学校、西隣に横浜医療福祉センター港南、東隣につぐみ団地があり、その隣接に関連の横浜女子短期大学（図書館、体育館等利用）、また、同短大のグラウンドがあります。さらに、幼児の徒歩の距離に自然、大型遊具、広さ等に恵まれた公園が点在しています。

開園以来3年間、保護者のご理解とご協力があって、今回、取組が浅い部分もありながら過大な評価を頂きましたことを感謝いたします。今後はご示唆頂いた課題に取り組み、さらなる充実を図っていききたいと思います。特に、観察調査において、保育の意図のご理解と意義付けを頂き、資質向上の一環にできることを重ねて感謝申し上げます。



-評価で次のステージへ-  
since 2012

---

合同会社 評価市民・ネクスト

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター153

Tel: 050-3786-7048 Fax: 045-330-6048

URL: <http://www.hyouka-next.jp>